

RYOBI

株主のみなさまへ 第102期 報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで



DIE
CASTINGS



POWER
TOOLS

BUILDERS'
HARDWARE



PRINTING
EQUIPMENT

あなたの暮らしの中で役立っています

ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。



ダイカスト製品

■ 主なダイカスト製品

- ・シリンダーブロック、トランスミッションケース、車体フレームなどの自動車・二輪車用部品

住建機器事業

パワーツール

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。



充電式刈払機「BK-2300A」

■ 主な商品

- ・ドリル、丸ノコ、グラインダ、芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、クリーナなど

建築用品

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。



ドアクローザ「GEOPRO GD-4PV」

■ 主な商品

- ・ドアクローザ
- ・ヒンジ
- ・建築金物等

印刷機器事業

カタログ、ポスター、雑誌、美術書やパッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。

データ入稿から印刷、製本まで、ハード・ソフト両面から印刷をトータルに支えています。



A全判高速オフセット8色印刷機「RYOBI 928P」

■ 主な商品

- ・高速オフセット多色印刷機
- ・印刷周辺機器等



技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた
企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第102期(2014年3月期)報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続することを基本にしております。当期(第102期)の期末配当金につきましては、先の株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり3円を、当期の業績が予想を上回ったことから1円増配して4円(中間配当金とあわせて年間7円)といたします。

次期の配当につきましては、1株当たり年間8円(中間配当金4円、期末配当金4円)を予定しております。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末長くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

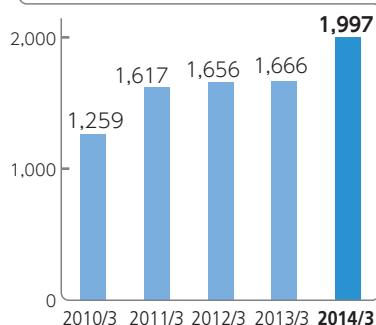
2014年6月

代表取締役社長

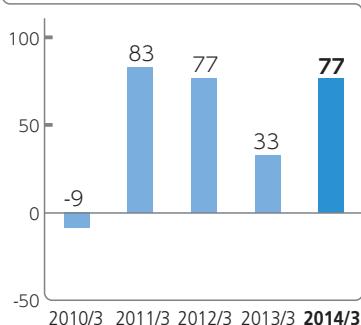
浦上彰

連結決算の要点解説

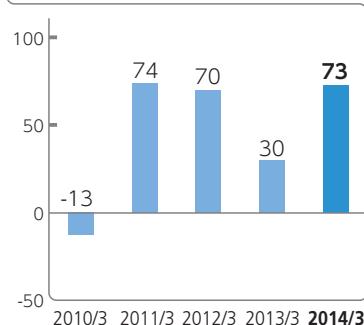
売上高(億円)



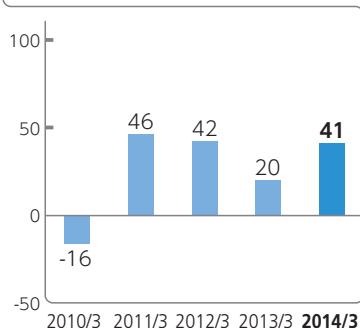
営業利益(億円)



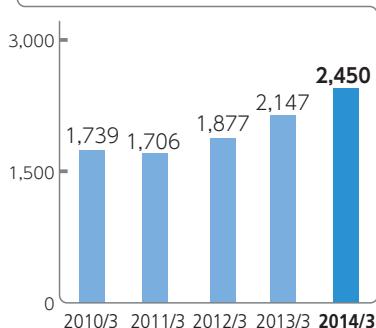
経常利益(億円)



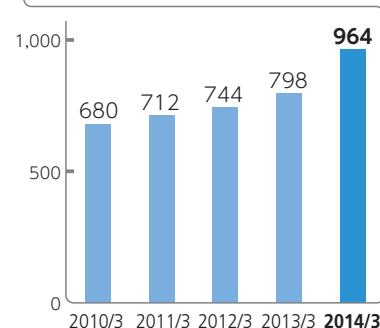
当期純利益(億円)



総資産(億円)



純資産(億円)



業績推移

科目	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3(見通し)
売上高(百万円)	125,940	161,730	165,638	166,566	199,697	220,000
営業利益(百万円)	△ 925	8,285	7,715	3,307	7,665	8,400
経常利益(百万円)	△ 1,312	7,438	6,950	2,980	7,264	7,100
当期純利益(百万円)	△ 1,601	4,594	4,179	2,009	4,132	3,600
1株当たり当期純利益(円)	△ 9.90	28.40	25.84	12.42	25.53	22.24
総資産(百万円)	173,916	170,577	187,694	214,725	244,976	—
純資産(百万円)	67,995	71,217	74,350	79,767	96,433	—
1株当たり純資産(円)	414.86	434.18	453.03	484.70	565.74	—

△は損失

売上高・利益の状況

当連結会計年度(2014年3月期)のわが国経済は、上半期は、金融緩和、財政支出、成長戦略を柱とする安倍政権の経済政策への期待から円安・株高が進み、輸出や生産、設備投資が持ち直し、個人消費を中心に内需の拡大が続いたことから、回復基調で推移しました。下半期は、原油・原材料価格の上昇や新興国経済の減速、不透明な海外情勢などが懸念されたものの、生産や個人消費の改善がさらに続いたことに加えて、消費税増税前の駆け込み需要などもあり、緩やかな回復が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進めるとともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

資産・負債等の状況

当連結会計年度末(2014年3月末)の総資産は、前連結会計年度末に比べ302億50百万円増加し、2,449億76百万円となりました。増加は主に現金及び預金5億72百万円、受取手形及び売掛金84億7百万円、たな卸資産75億78百万円、有形固定資産143億72百万円、投資有価証券22億9百万円等の増加によるものです。その一方で、減少は有価証券47億4百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ135億84百万円増加し、1,485億42百万円となりました。増加は主に支払手形及び買掛金46億32百万円、長・短借入金62億55百万円等の増加によるものです。受取手形割引高及びリース債務を差し引いた有利子負債残高は、853億57百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ166億66百万円増加し、964億33百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定90億56百万円、利益剰余金32億96百万円等によるものです。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ131億15百万円増加し、915億66百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し、37.4%となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ166億66百万円増加し、964億33百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定90億56百万円、利益剰余金32億96百万円等によるものです。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ131億15百万円増加し、915億66百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し、37.4%となりました。

次期(2015年3月期)の見通し

今後のわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動や増税による影響を受けつつも、その影響は次第に薄れていくことが期待されます。また、海外は緩やかな回復が続くことが期待されるものの、米国の金融緩和縮小や新興国経済の減速など世界経済に及ぼす影響が懸念されます。

このような情勢のもと、現時点における次期(2015年3月期)の連結業績は、増収、増益(営業利益)となる見通しです。

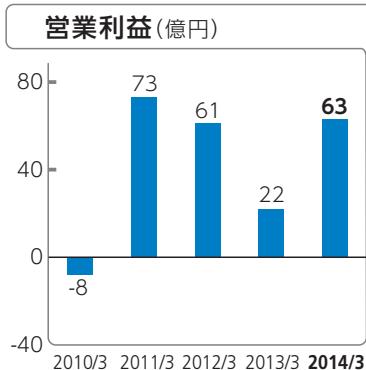
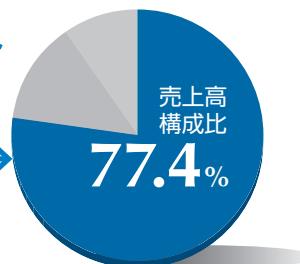
ダイカスト事業は、国内市場向けは減少するものの、中国・タイでの生産拡大に加えて北米や欧州での受注が堅調であることから、増収、増益となる見通しです。ただ

し、海外生産拠点の設備増強に伴う先行投資(固定費等の増加)により、利益の伸びは小幅に留まる見込みです。

住建機器事業は、駆け込み需要の反動や増税の影響で市場は縮小するものの、売上高はほぼ横ばいを見込んでいます。利益については、売上高原価率の上昇や販売競争の激化による収益性の低下により、減少する見込みです。

印刷機器事業は依然として厳しい市場環境が続いていますが、当社と三菱重工印刷紙工機械株式会社のオフセット枚葉印刷機事業の統合により平成26年1月に創業した合弁会社が売上高の増加と収益性の改善をはかることで、増収、増益をめざします。

ダイカスト 事業



DIE CASTINGS

当期の業績

売上高は1,544億80百万円(前連結会計年度比22.0%増加)、営業利益は62億50百万円(同178.8%増加)となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

好調な自動車産業を背景に、アジアでの生産拡大に加えて、北米での堅調な受注、欧州や国内での受注の回復により増収、増益となりました。

事業展開の方向性

ダイカストの有望市場への資源配分と収益性の改善をめざして、価格競争力、営業力、技術開発力、品質保証能力の強化、生産性の向上、経営資源の有効活用に取り組んでいます。

日本、米州、欧州、アジアに製造販売拠点を構え、世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウを活かして、グローバルに自動車メーカーなどとの関係を強化し、国内・海外での受注拡大を進めています。ダイカストの主な需要先である自動車市場は、今後、国内は縮小が予想されるものの、海外では中国や北米、欧州での拡大が期待されます。当事業の世界戦略体制を強化するために、中国(2社)、タイにある連結子会社の生産能力の増強をはかるとともに先行投資の早期回収を進めていきます。さらに、ダイカストの需要増大が予想され

る北米や欧州においても、収益性を見極めながら工場拡張や生産設備の増設を検討していきます。

また、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として用途を拡大するとともに、高品質な製品、付加価値の高い製品の開発に一層注力します。特に自動車分野においては、電気自動車やハイブリッド車の増大に対応するために、パワートレイン部品以外の自動車部品(車体部品等)のダイカスト化に取り組んでいます。

第60回 大河内記念技術賞を受賞

株式会社本田技術研究所、株式会社エフテックと共同研究した「アルミニウム合金とスチールの摩擦攪拌接合サブフレームの開発」が、第60回大河内記念技術賞を受賞しました。

従来の鋼製サブフレーム比で25%軽量化したこと、接合方法の開発により接合時の電力消費量を50%削減したことが高く評価されました。

大河内記念技術賞受賞は、独創性及び競合技術に対する優位性、経済的貢献度、社会的貢献度といった日本産業と科学技術の発展に大きく貢献した技術に与えられるもので、日本で最も権威ある賞の一つです。

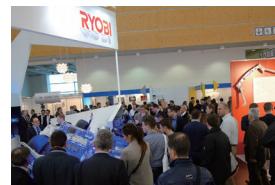
引き続き技術開発を進め、社会にも貢献できるよう努めていきます。

Column

「EUROGUSS 2014」に出展

2014年1月14日から16日の3日間、「EUROGUSS 2014 (国際ダイカスト専門見本市)」がドイツ・ニュルンベルクで開催され、約11,000人の来場者でにぎわいました。当社は、欧州市場でグローバルに展開するリョービのプレゼンス向上と市場調査を目的に、4回目の出展を行いました。

当社ブースでは、シリンダーブロック、電気自動車やハイブリッド車のダイカスト製品等を展示しました。自動車業界のグローバル化を背景に、各国の自動車メーカーから多数問い合わせがあるなど、大きな手応えがありました。



多くのお客様が来場された当社ブース



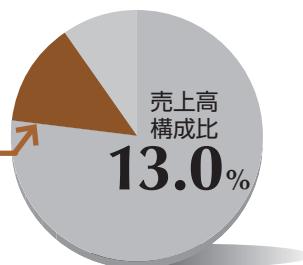
お客様の関心を引いた車のオブジェブース



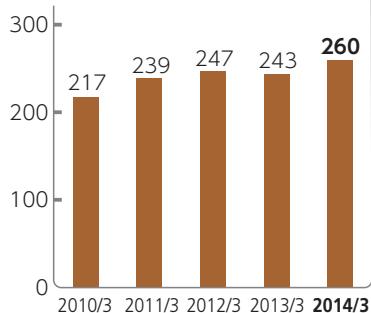
サブフレーム
(ホンダ「Accord US」へ搭載)



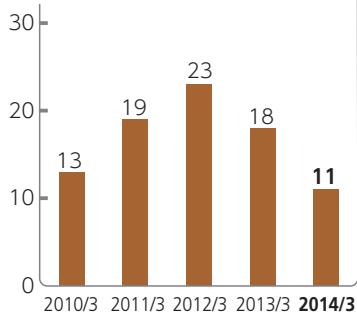
住建機器 事業



売上高(億円)



営業利益(億円)



POWER TOOLS/ BUILDERS' HARDWARE

当期の業績

売上高は259億600万円(前連結会計年度比6.8%増加)、営業利益は11億300万円(同37.9%減少)となり、前連結会計年度に比べて増収、減益となりました。

主にアジア向けの増加に加えて、米州向けや国内販売も増加したことから増収となりました。しかし、売上高原価率の上昇や、販売競争が激しさを増していることから、減益となりました。

事業展開の方向性

● パワーツール事業

お客様の期待を超える商品、サービスを提供することにより市場の信頼を築いていくことをめざして、商品企画力、商品開発力、技術開発力の強化に取り組んでいます。軽量、コンパクトをコンセプトに、使いやすさと機能性、安全性を追求し、プロ用からDIY用まで幅広いお客様のニーズに応え、さらに期待を超える商品、サービスの開発を進めています。

また、国内・海外の販売力の強化、中国にある連結子会社の生産性・収益性の改善、品質向上などの取り組みを一層推進して、収益力を高める体制づくりを進めます。

● 建築用品事業

品質とコスト競争力の向上により、お客様の期待に応える商品の提供をめざしています。主力のドアクローザをはじめ、ドア周りをいっそう便利に使いやすくする商品の機能性、意匠性を追求し、特長ある高品質商品の開発に取り組んでいます。

また、生産を担う中国にある連結子会社の生産性・サービスの向上、品質保証能力の強化、コストダウンを強気に推進し、価格競争力を高めて国内のさらなるシェアの拡大と海外での拡販を進め、収益の向上をめざします。

防火ドア用自閉装置 「オートスイングヒンジFRシリーズ」

火災発生時、煙感知器と連動し防火ドアを閉めるオートスイングヒンジ。耐温度性能を向上したFRシリーズを発売しました。

FRシリーズは、閉鎖力の見直しによる適用ドア範囲の拡大や機種共用化により、基本機種を半減することが出来ました。今後も、建物の状況による様々なニーズにお応えできる商品開発をめざします。



トップピボット



本体と受座

Column

新商品 電子内装丸ノコ「W-470ED」



主に大工職人が、化粧板やフローリング材、構造用合板など建築木材の切断に使用する商品です。木材建築やリフォーム現場で切断頻度が高い、厚さ45mmまでの木材を切断することができます。

取り回しの良いコンパクトボディにより、「トータルバランスの良さ」が好評を得ているプロ用の電動工具です。



紹介動画をご覧ください。



新商品 高圧洗浄機「AJP-2100GQ」



耐久性能が当社比で約3倍に向上し、家庭用ながらプロ用並みの耐久性を兼ね備えています。

新開発の水冷式誘導モーターを採用し、体感音を当社比で約50%低減。騒音が気になる環境でも周りに気兼ねなく使えます。

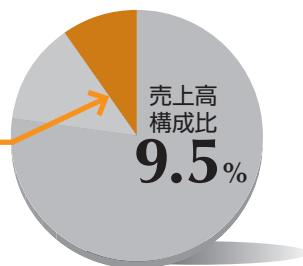
クラス最長の15m高圧ホース、ホースをキレイに巻き取るホースリール、キャリアバッグのようなハンドルなど、便利さフル装備の商品です。



紹介動画をご覧ください。



印刷機器 事業



PRINTING EQUIPMENT

当期の業績

売上高は190億27百万円(前連結会計年度比22.1%増加)、営業利益は3億5百万円(前連結会計年度比10億16百万円増加)で、前連結会計年度に比べて増収となり、5期ぶりの黒字となりました。

円安による輸出環境の改善により中国をはじめアジア向けが大幅に増加し、国内販売も増えたことから増収となり、利益を上げることができました。

事業展開の方向性

当事業は、精度の高い多色化と印刷機能の高度化を追求し、小型から大型まで豊富なバリエーション(サイズ・機能・価格等)を取り揃えるオフセット枚葉印刷機を中心に、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発・製造し、国内および海外で幅広く販売しています。

リーマンショック以降、印刷需要が減少し、印刷機器の市場も縮小したことから激しい販売競争が続く中、当事業の競争力を高め、事業規模の維持・拡大と経営基盤の強化をはかるために、三菱重工印刷紙工機械株式会社と合併会社を設立し、オフセット枚葉印刷機分野の事業を統合しました。合併会社「リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社」は、印刷機器事業を担う連結子会社として平成26年1月に創業し、合併による期待効果を実

現して、収益性の改善と安定した利益を出せる事業体質への転換をめざしています。現在、効率的な経営体制の構築、競争力のある商品を生み出すための開発体制の強化、これまで培ってきた2社の顧客基盤を活かした販売・サービス体制の構築、生産性の向上と製造コストの低減に取り組んでいます。

今後、印刷機器市場は、新興国での需要拡大、先進国での高付加価値印刷機に対する需要の伸張が期待されます。同事業は、これら需要を取り込むためにお客様のニーズに応える独創的で高品質な印刷機やサービスを提供し、利益の伴う売上高の拡大をめざします。

菊全判オフセット印刷機 「DIAMOND V3000LX-6」

カタログ、パンフレット、チラシなどの薄紙から紙厚1.0mmのパッケージ用途まで多様な用途に1台で対応する、菊全判(B1に相当)サイズの用紙を印刷できる大型印刷機です。

毎時16,200枚の高速印刷時でも、エアー制御によって用紙の搬送における傷の発生を防ぐ機構を随所に採用しています。また、印刷物の表面保護と光沢向上のために、印刷と同時にニス引きが行えるニスコーターや乾燥装置を装備することもできます。



Column

2014年1月、リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社が創業しました。

オープンハウスを開催

本社(リョービ広島東工場内)と東日本支社(リョービ東京支社内)において、オープンハウスを開催しました。印刷機の展示、デモンストレーションや工場見学ツアーを行いました。合計約1,000人のお客様と代理店の方々が来場され、高い技術力等をピーアールし、新会社への理解を深めていただく機会となりました。



幅広いラインアップの印刷機を展示、実演(東日本支社にて)

実演を行う菊全判オフセット印刷機「DIAMOND V3000LX-6」(本社にて)



新会社としての 「DIAMOND V3000シリーズ」 初出荷

2014年2月には新会社としての「DIAMOND V3000シリーズ」初出荷に際し、第1号機の安全を祈願すると共に、出荷式を行いました。



連結財務諸表

貸借対照表 (2014年3月31日現在)

単位：百万円

科目	当期	前期
資産の部		
流動資産	113,626	102,746
現金及び預金	18,419	17,846
受取手形及び売掛金	48,096	39,689
有価証券	1,493	6,197
たな卸資産	39,471	31,892
繰延税金資産	1,184	1,005
その他	5,041	6,134
貸倒引当金	△ 79	△ 19
固定資産	131,349	111,979
有形固定資産	111,253	96,880
建物及び構築物	31,286	24,996
機械装置及び運搬具	48,645	36,380
土地	23,224	22,309
リース資産	—	159
建設仮勘定	4,523	9,955
その他	3,572	3,078
無形固定資産	2,467	1,642
投資その他の資産	17,628	13,456
投資有価証券	11,858	9,649
繰延税金資産	3,874	2,071
その他	1,979	1,804
貸倒引当金	△ 83	△ 68
資産合計	244,976	214,725

科目	当期	前期
負債の部		
流動負債	99,627	87,588
支払手形及び買掛金	35,171	30,539
短期借入金	37,277	32,201
1年内返済予定の長期借入金	12,159	8,734
未払法人税等	1,753	386
賞与引当金	1,569	1,302
役員賞与引当金	42	—
その他	11,654	14,424
固定負債	48,914	47,369
長期借入金	35,920	38,165
繰延税金負債	1,203	402
再評価に係る繰延税金負債	630	630
退職給付引当金	—	5,876
② 退職給付に係る負債	7,567	—
持分法適用に伴う負債	—	403
その他	3,592	1,891
負債合計	148,542	134,958
純資産の部		
株主資本	86,556	83,260
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,757	23,757
利益剰余金	46,661	43,364
自己株式	△ 2,334	△ 2,333
その他の包括利益累計額	5,010	△ 4,808
その他有価証券評価差額金	4,160	2,880
繰延ヘッジ損益	△ 24	△ 51
土地再評価差額金	655	655
① 為替換算調整勘定	763	△ 8,293
退職給付に係る調整累計額	△ 544	—
少数株主持分	4,866	1,316
純資産合計	96,433	79,767
負債純資産合計	244,976	214,725

財務諸表 ワンポイント解説

POINT

① 為替換算調整勘定

連結決算にあたっては、海外子会社の財務諸表の換算手続きにおいて、円貨建てに換算する必要があります。円換算する際の為替レートは原則として決算時のレートが適用されますが、資本金や利益剰余金については、それが発生したときのレートが適用されるため、資産と負債・純資産の金額が一致なくなります。この差額を調整するのが「為替換算調整勘定」です。当期は円安方向に為替が動いた結果、「為替換算調整勘定」によって純資産が9,056百万円増加しました。

損益計算書 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

単位：百万円

科目	当期	前期
売上高	199,697	166,566
売上原価	169,539	141,620
売上総利益	30,158	24,946
販売費及び一般管理費	22,493	21,639
営業利益	7,665	3,307
営業外収益	2,041	1,676
営業外費用	2,442	2,002
支払利息	1,706	1,369
その他	735	632
経常利益	7,264	2,980
特別利益	22	12
固定資産処分益	22	5
その他	0	6
特別損失	1,850	379
固定資産処分損	194	317
投資有価証券評価損	-	44
その他	1,656	17
税金等調整前当期純利益	5,436	2,613
法人税等	1,081	416
少数株主利益	222	187
当期純利益	4,132	2,009

キャッシュ・フロー計算書 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

単位：百万円

科目	当期	前期
営業活動による キャッシュ・フロー	16,404	6,766
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 21,096	△ 24,308
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 934	16,599
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,086	272
現金及び現金同等物の 増減額	△ 4,539	△ 669
現金及び現金同等物の 期首残高	21,844	22,513
現金及び現金同等物の 期末残高	17,711	21,844

財務諸表 ワンポイント解説

POINT

② 退職給付に係る負債

退職給付に関する会計基準が変更され、2014年3月期より退職給付債務から年金資産の額を控除した額を「退職給付に係る負債」として計上することになりました。今までの「退職給付引当金」では未認識債務(いわゆる積立不足)は簿外債務となっていました。今後は全ての債務が「退職給付に係る負債」として計上されることとなります。

株主資本等変動計算書 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額						少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,472	23,757	43,364	△ 2,333	83,260	2,880	△ 51	655	△ 8,293	-	△ 4,808	1,316	79,767
当期中の変動額													
剰余金の配当			△ 971		△ 971								△ 971
当期純利益			4,132		4,132								4,132
自己株式の取得				△ 0	△ 0								△ 0
連結範囲の変動			135		135								135
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						1,280	26	-	9,056	△ 544	9,819	3,550	13,369
当期中の変動額合計	-	-	3,296	△ 0	3,296	1,280	26	-	9,056	△ 544	9,819	3,550	16,666
当期末残高	18,472	23,757	46,661	△ 2,334	86,556	4,160	△ 24	655	763	△ 544	5,010	4,866	96,433

● 株式の概要

■ 発行可能株式総数	500,000千株
■ 発行済株式の総数	171,230千株
■ 自己株式保有数	9,377千株
■ 株主数	10,101名
■ 株式の上場	東京証券取引所

● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,205	10.01
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
菱工会持株会	7,928	4.89
日本生命保険相互会社	6,240	3.85
公益財団法人浦上奨学会	5,630	3.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,870	2.39
三井住友信託銀行株式会社	3,503	2.16
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,432	2.12

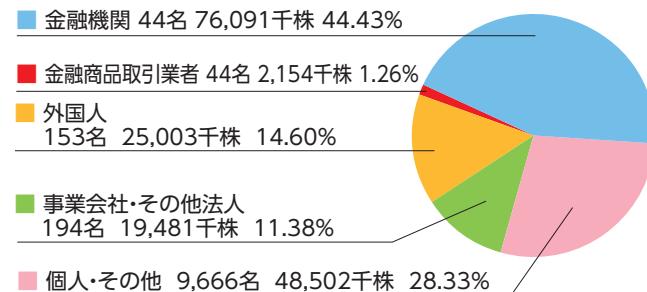
(注)当社は、自己株式9,377千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 配当金(1株当たり)

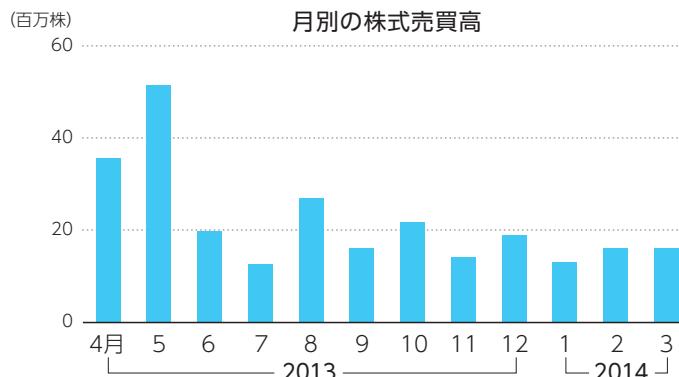
	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
中間配当金	—	—	—	3円	3円
期末配当金	—	6円	6円	3円	4円
年間配当金	—	6円	6円	6円	7円

● 株式分布状況

<所有者別>合計10,101名/171,230千株



● 株価及び株式売買高の推移



■ CSR活動

NPO法人リョービ社会貢献基金の活動

NPO法人リョービ社会貢献基金は、社会貢献活動の一環として、リョービグループの拠点がある地域のボランティア団体や社会福祉施設に対して、活動資金の助成や物品の寄贈を行っています。

2013年度の活動では、ボランティア10団体に対して計100万円を活動資金として助成し、9カ所の社会福祉協議会等へ医療ケア用品、入浴支援用品、電動アシスト車椅子、音楽療法機材など、総額約300万円の物品を寄贈しました。



寄贈物品(入浴支援用品など)



物品贈呈式(広島県府中市にて)

■ 会社の概要

社名 リョービ株式会社

英文社名 RYOBI LIMITED

創立年月日 1943年12月16日

資本金 184億72百万円

社員数 1,721名

主要商品 ダイカスト製品
パワーツール(電動工具、園芸用機器等)
建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)
印刷機器(オフセット印刷機、印刷周辺機器等)

主なグループ会社

● ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社

リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所

生野株式会社

RYOBI DIE CASTING(USA),INC.

RDCM, S. DE R.L. DE C.V.

RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED

利優比压铸(大連)有限公司

利優比压铸(常州)有限公司

RYOBI DIE CASTING(THAILAND)CO., LTD.

● 住建機器事業

リョービ販売株式会社

利優比(大連)机器有限公司

● 印刷機器事業

リョービMHIグラフィック

テクノロジー株式会社

■ 役員 (2014年6月23日現在)

● 取締役

代表取締役	浦上 浩
代表取締役	浦上 彰
取締役	横山 隆志
取締役	鈴木 健二郎
取締役(社外)	大岡 哲
取締役(社外)	加藤 大朗
取締役	川口 裕幸

● 監査役

常勤監査役	小林 照三
監査役(社外)	山本 裕二
監査役(社外)	荒井 洋一

● 執行役員

会長	浦上 浩
社長	浦上 彰
常務執行役員	横山 隆志
執行役員	鈴木 健二郎
執行役員	川口 裕幸
執行役員	鈴木 隆
執行役員	滝埜 義巳
執行役員	栢野 隆史

「暮らしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が担当となっておりますので、左記の連絡先にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
TEL (0847) 41-1111
東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
TEL (03) 3927-5541
<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。